

## まちかどトーク（東五位地区）議事要旨

日時：令和8年1月8日（木）19:00～20:30

場所：東五位公民館

参加者：76人

### 1 市長あいさつ

### 2 市政に関する説明

「地区の現状と今後のあり方のひとつの提案」について地域課から説明の後、質疑応答

#### 参加者

多機能地域自治を知らない市民が多い。市の広報紙に連載コーナーを設けて情報発信してはどうか。

#### 地域課

広報紙（令和7年10月号）に多機能地域自治に関する記事を掲載したところ。紙面ではなかなか伝わらないことから出前講座を行っており、希望する自治会や地域団体に出向いて説明している。

#### 市長

広報紙において、もっとわかりやすく掲載し、市民に関心を持ってもらえるよう努めたい。

#### 地域課

多機能地域自治の導入は、地域活動を効率化して住民負担を軽減する有効な手法である。

#### 参加者

各種地域団体の総会を同日にまとめて開催することで、負担を軽減するやり方の紹介があったが、市内で実践している地区はあるのか。

#### 地域課

いくつかの地区で実践している。例えば、地区連合自治会、地区社会福祉協議会、公民館連絡協議会の総会を連続して実施しており、関係者の拘束日を減らす工夫をしている。団体間で調整は必要だが、是非検討してもらいたい。

#### 参加者

若い世代に地域活動の協力を依頼すると仕事を理由に断られるが、現在の地域活動の担い手や自治会執行部の中心である65～75歳の方々も定年延長によって働きながら地域活動に参画しているところ。もっと若い世代に積極的に地域活動に参加してもらいたい。

#### 参加者

防災について、市が自治会任せにしており、自治会間でやる気や予算に格差が生じている。会員数が少ない自治会では、十分な活動が出来ていない。避難所も不足しており、距離も遠く、設備や機能が不十分である。また、AED（自動体外式除細動器）も不足している。防災についての考えを伺いたい。

## 市長

防災は、住民一人ひとりの意識の変化が重要だと思っており、危機管理課を中心として、啓発活動を行っている。能登半島地震の際、避難所の鍵の所有者がすぐわからないといった問題が生じたが、一定の震度で自動開錠する鍵を導入した。

物資の不足も課題であるが、地域住民の何千人分もの物資を倉庫で保管できるかとなると、場所も十分になく難しい。

## 3 意見交換

### 「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

#### 参加者

どのようなビジョンを持ち、市をリードしていくのか。

#### 市長

上京してから帰省する度に高岡に元気が無いと感じ、何とかしたいと思っていた。高岡を元気にするために、企業誘致や工業団地などの事業に挑戦し、子どもや孫が戻ってくる街にしたい。そのためには公共交通も大切であり、交通事業者にも協力を呼び掛けている。暮らしやすく、賑やかな街になるよう、市役所全体も変わらないといけない。

#### 参加者

市長は体育館の建設について、消極的な考えだと聞いている。全国規模のスポーツ大会を誘致したくても、大規模な体育館が無く、他市の体育館で実施している。スポーツの全国大会が開催されると千人規模の人々が訪れ、ホテルや飲食店にも経済効果があるが、市内には大人数を受け入れられる宴会場がない。スポーツを通じて市を元気にしたいと考えている。

#### 市長

体育館の建設に否定的ではなく、建設するならばスポーツコアの隣で建設した方が良いと思っている。竹平記念体育館のサブアリーナを建設すれば、大規模な体育館は建設できなくなる。ただし、建設する場合はタイミングを考えないといけない。スポーツコアの隣の土地は取得済みであり、新高岡駅も近い。現在の竹平記念体育館は、千人規模の大会が開催されているが、いずれは老朽化するため、方針を決める必要がある。

#### 参加者

道の駅「万葉の里 高岡」は駐車場が狭く、路上駐車が発生している。道の駅の駐車場の拡張をぜひ検討いただきたい。道の駅は、観光バスを駐車してお土産を購入できる重要な施設であり、能越自動車道、国道、高規格道路が交差する交通拠点でもある。

#### 参加者

高岡インター周辺は都市計画法の市街化調整区域のため、新たに住宅ができず、空き店舗も出店業種が限られているため買い手がいない。市街化調整区域を見直すよう、県に働きかけてほしい。

高岡インター周辺は防災の観点から重要な場所であるため、防災倉庫を設置してほしい。

#### 参加者

学童保育に関わっており、こども達と出かける機会があるが、屋内で遊び、学べる全天

候型の施設が市内にないため整備してほしい。また、遠足等のバス代の補助をお願いしたい。

支援員の処遇について、学童保育の収入だけでは生活できない実態もあるため、国の支給に加え、市からも支給いただき、処遇改善に取り組んでほしい。

#### **参加者**

福田六家地内は小矢部川と祖父川に囲まれた地域である。令和7年8月の豪雨、令和5年7月の線状降水帯発生時には内水氾濫が発生したため、調査と改善を要望したい。

#### **市長**

市内で市街化調整区域が問題となっている地区は他にも存在しており、県に働きかけていきたい。

防災倉庫の設置については、道の駅「万葉の里 高岡」周辺は浸水リスクがあるため、想定していない。

子どもの屋内施設の整備について、まずは他市の状況や活用できる補助制度等を調査していきたい。

内水氾濫は深刻な問題であり、現状の調査が必要だと考えている。ポンプ車を増やす等、出来る事に取り組んでいきたい。

#### **市長**

市民一人ひとりが街を守るという意識を持ち、考え方を変えていってほしい。市民が一步踏み出すことが重要である。これから市民も市役所も新しいやり方にチェンジし、若い世代に繋がるまちづくりに努めたい。